

明治村 だより

春号 Vol. 35

目次

- 遠くて近い歌舞伎と見世物 川添 裕 …2
- 登録有形文化財に 明治村の建造物 ……4
- 明治の機械 霧信号(霧笛)用蒸気機関 ……7
- 催しものご案内 ……8
- 新商品・新スポット紹介 ……10
- A La Meiji-mura ……11



- 5JH 51番地-67番地**
 - ① 聖ザビエル天主堂
 - ② 金沢監獄正門
 - ③ 小那沙美鳥燈台
 - ④ 大鐘眼鏡橋
 - ⑤ 隅田川新大橋
 - ⑥ 大明寺聖パウロ公会堂
 - ⑦ 川崎銀行本店
 - ⑧ 皇居正門石橋飾電燈
 - ⑨ 内閣文庫
 - ⑩ 東京駅警備巡查派出所
 - ⑪ 前橋監獄雑居房
 - ⑫ 金沢監獄中央看守所 監房
 - ⑬ 宮津裁判所法廷
 - ⑭ 菊の世酒蔵
 - ⑮ 高田小形写真館
 - ⑯ 名倉岩倉茶室(岩倉ホール)
 - ⑰ 帝国ホテル中央玄関(ポーツマス条約調印テーブル)
- 4JH 34番地-50番地**
 - ⑱ 第四高等学校武術道場(無声堂)
 - ⑲ 日本赤十字社中央病院病棟
 - ⑳ 歩兵第六聯隊兵舎
 - ㉑ 名古屋成徳院(数珠師文化)
 - ㉒ シアトル日系福音教会
 - ㉓ ブラジル移民住宅
 - ㉔ ハワイ移民集会所
 - ㉕ 六郷川鉄橋
 - ㉖ 尾西鉄道蒸気機関車1号
 - ㉗ 蒸気機関車12号・9号・三等客車
 - ㉘ 鉄道寮新橋工場(機械館) リング紡績機(重要文化財) 菊花御紋章付平削磨(重要文化財)
 - ㉙ 工部省品川硝子製造所
 - ㉚ 宇治山田郵便局(重要文化財)
 - ㉛ 本郷宮之床
 - ㉜ 小泉八雲遊覧の家
 - ㉝ 呉服座(重要文化財)
 - ㉞ 半田東湯
- 3JH 24番地-33番地**
 - ㉟ 京都市電
 - ㊱ 北里研究所本館(医学館)
 - ㊲ 幸田露伴住宅「蝸牛庵」
 - ㊳ 西園寺公望別邸「坐論荘」
 - ㊴ 茶室「亦楽庵」
 - ㊵ 品川燈台(重要文化財)
 - ㊶ 音倉燈台附属官舎(重要文化財)
 - ㊷ 長崎居留地二十五番館
 - ㊸ 神戸山手西洋人住居
 - ㊹ 宗教大学車寄
- 2JH 14番地-23番地**
 - ㊺ 千早赤阪小学校講堂
 - ㊻ 第四高等学校物理化学教室
 - ㊼ 東山梨郡役所(重要文化財)
 - ㊽ 清水医院
 - ㊾ 東松家住宅(重要文化財)
 - ㊿ 京都中井酒造
 - 1 安田銀行会津支店
 - 2 札幌電話交換局(重要文化財)
 - 3 蒸気自動車(鉄道記念物)
 - 4 京都七條巡查派出所
- 1JH 1番地-13番地**
 - 5 第八高等学校正門
 - 6 大井牛肉店
 - 7 三重県尋常師範学校・蔵持小学校
 - 8 近衛局本部付属舎
 - 9 赤坂離宮正門哨舎
 - 10 聖ヨハネ教会堂(重要文化財)
 - 11 学習院長官舎
 - 12 西郷従道邸(重要文化財)
 - 13 森岡外夏目漱石住宅
 - 14 東京盲学校車寄
 - 15 二重橋飾電燈
 - 16 鉄道局新橋工場
 - 17 明治天皇昭憲皇太后御車(鉄道記念物)
 - 18 三重県庁舎(重要文化財)

★4月からは毎週土曜日は、小・中学生の入村料が無料になります。

『明治村 だより』 第36号発行のお知らせ
 発行時期 平成16年7月(予定)
 申込方法 「明治村だより」第36号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円の切手とともに封書にてお申し込み下さい。

平成16年3月12日発行
 『明治村だより』第35号(平成16年 春)
 発行 博物館明治村
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
 電話(0568) 67-0314
 ◎ホームページ <http://www.meijimura.com>
 製作 大日本印刷株式会社

登録有形文化財とは、建築後五十年を経過しており「国土の歴史的景観に寄与しているもの」「造形の模範となつてゐるもの」「再現することが容易でないもの」これらのいずれかを満たした建造物で、文化財保護審議会が審議し、文化庁の原簿に登録されるものです。



4丁目
⑧ シアトル日系福音教会 (旧シアトル住宅)
旧所在地 / アメリカ・ワシントン州シアトル市
建築年 / 明治40年 (1907) 頃
移築年 / 昭和59年



4丁目
⑨ 鉄道寮新橋工場・機械館
旧所在地 / 東京都品川区大井町
建築年 / 明治初年 (1868)
移築年 / 昭和43年



4丁目
⑩ 半田東湯
旧所在地 / 愛知県半田市亀崎町
建築年 / 明治末年 (1910) 頃
移築年 / 昭和55年



5丁目
⑪ 天童眼鏡橋
旧所在地 / 山形県天童市天童から老野森
建築年 / 明治20年 (1887)
移築年 / 昭和51年



5丁目
⑫ 皇居正門石橋飾電燈
旧所在地 / 東京都千代田区千代田
建築年 / 明治26年 (1893)
移築年 / 平成2年



4丁目
⑬ 第四高等学校武術道場「無声堂」
旧所在地 / 石川県金沢市仙石町
建築年 / 大正6年 (1917)
移築年 / 昭和45年



4丁目
⑭ プラジル移民住宅
旧所在地 / ブラジル・サンパウロ州レジスト市
建築年 / 大正8年 (1919)
移築年 / 昭和50年



4丁目
⑮ 工部省品川硝子製造所
旧所在地 / 東京都品川区北品川
建築年 / 明治10年 (1877) 頃
移築年 / 昭和44年



5丁目
⑯ 聖ザビエル天主堂
旧所在地 / 京都市中京区河原町通三条
建築年 / 明治23年 (1890)
移築年 / 昭和48年



5丁目
⑰ 隅田川新大橋
旧所在地 / 東京都中央区浜町から江東区深川新大橋
建築年 / 明治45年 (1912)
移築年 / 昭和50年



5丁目
⑱ 内閣文庫
旧所在地 / 東京都千代田区千代田
建築年 / 明治44年 (1911)
移築年 / 平成2年



4丁目
⑲ 日本赤十字社中央病院病棟
旧所在地 / 東京都渋谷区広尾
建築年 / 明治23年 (1890)
移築年 / 昭和49年



4丁目
⑳ ハワイ移民集会所
旧所在地 / アメリカ・ハワイ州ヒロ市
建築年 / 明治22年 (1889) 頃
移築年 / 移昭和44年



4丁目
㉑ 本郷喜之床
旧所在地 / 東京都文京区本郷
建築年 / 明治末年 (1910) 頃
移築年 / 昭和55年



5丁目
㉒ 金沢監獄正門
旧所在地 / 石川県金沢市小立野
建築年 / 明治40年 (1907)
移築年 / 昭和52年



5丁目
㉓ 大明寺聖パウロ教会堂
旧所在地 / 長崎県西彼杵郡伊王島町
建築年 / 明治12年 (1879) 頃
移築年 / 平成6年



5丁目
㉔ 東京駅警備巡查派出所
旧所在地 / 東京都千代田区丸の内
建築年 / 大正3年 (1914) 頃
移築年 / 昭和47年



4丁目
㉕ 歩兵第六聯隊兵舎
旧所在地 / 名古屋市中区二の丸
建築年 / 明治6年 (1873)
移築年 / 昭和40年



4丁目
㉖ 六郷川鉄橋
旧所在地 / 東京都蒲田・神奈川県川崎間の六郷川
建築年 / 明治10年 (1877)
移築年 / 昭和63年



4丁目
㉗ 小泉八雲避暑の家
旧所在地 / 静岡県焼津市城之腰
建築年 / 明治初年 (1868)
移築年 / 昭和46年



5丁目
㉘ 小那沙美燈台
旧所在地 / 広島県佐伯郡沖美町
建築年 / 明治37年 (1904)
移築年 / 昭和51年



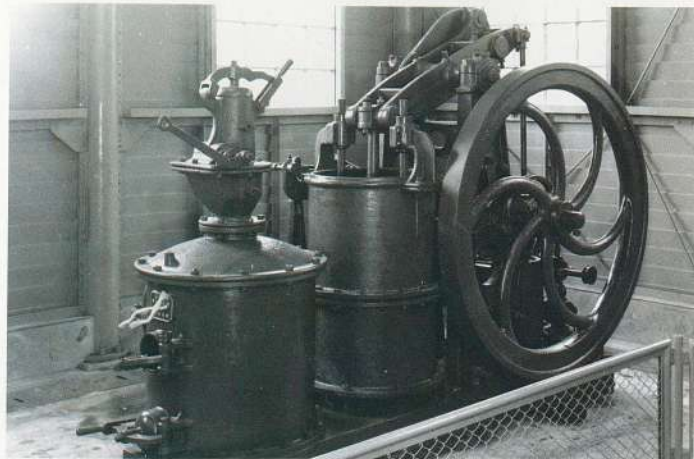
5丁目
㉙ 川崎銀行本店
旧所在地 / 東京都中央区日本橋
建築年 / 昭和2年 (1927)
移築年 / 平成2年



5丁目
㉚ 前橋監獄雑居房
旧所在地 / 群馬県前橋市南町
建築年 / 明治21年 (1888)
移築年 / 昭和46年

旧所在地はすべて解体時の地名による。

霧信号(霧笛)用蒸気機関



霧信号用蒸気機関

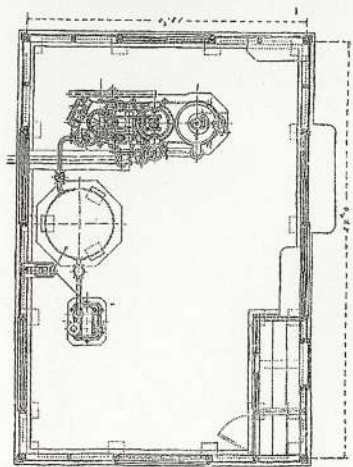


図2 日和山燈台霧警號舎之図 平面図

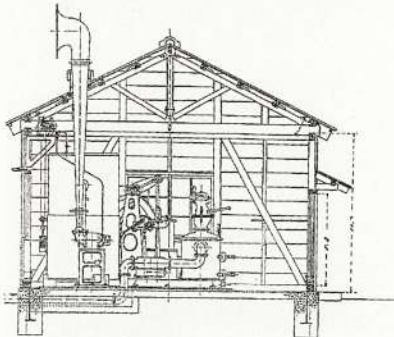


図3 同上 立面図

博物館明治村館内の中ほど、4丁目44番地に位置する鉄道寮新橋工場・機械館の中には明治時代を中心に、昭和四十年代ころまで使用された機械三十点あまりが展示されています。展示されている機械は大まかに「原動機械」「工作機械」「繊維機械」「印刷機械」に分かれています。今回その中の「原動機械」のコーナーに展示されている「霧信号用蒸気機関」について紹介いたします。

霧信号またの名を霧笛。悪天候などで海上の視界が悪い時、船舶の航行の安全を確保するため、大きな音を鳴らすことで、陸地が近いことを知らせるものです。音をならす時間や間隔は燈台によって異なっており、視界が悪い時に自船の位置を確認するのにも有益なものでした。ここに展示されているものは「毎分

一分二十秒ラ隔テ四秒時吹鳴ス」と定められていました。また、この蒸気機関は音を鳴らすための圧搾空気をつくるもので、北海道小樽港の外港日和山燈台に設置されていたものです。

いったい、この霧信号用蒸気機関とはどのようなものでしょうか。博物館明治村の記録には「原機、明治二十九年にアメリカより輸入し、明治三十年通信省横浜製鉄所で製作したのが本品」と残されておりありますが、現時点では「原機」にあたるものは発見されていません。しかし、この機械には立派な銘板が取り付けられており、「明治三十年 通信省横浜製鉄所」とはっきりと刻印されていますので、製造年だけは確定することができます。

そして、設置された記録が現れるのは明治四十四年です。この年に前出の「日和山燈台」に設置されまし

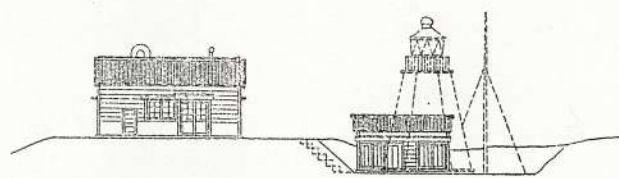


図1 日和山燈台霧警號全景之図

た。製造されてから、設置されたと記録にでてくるまでの間はどうに使用されていたのか、よくわかりません。わからないづくめの霧信号用蒸気機関ですが、今回の調査の途中で、この機械が据え付けられていた小樽外港の日和山燈台の霧信号舎の建物の図面を発見しました。(図1-3) 図1をご覧くださいとわかれるとおり、燈台に隣接した場所に別棟で「霧警号舎」という小屋が建てられ、この機械1台が据え付けられ、屋根には金管楽器のチューバのようなというか、蓄音機のラッパのようなというか、大きなスピーカー様のものが取り付けられていたのです。当初は石炭などを原料とした蒸気機関で、大正五年からは石油発動機を用い、荒天時に船舶の航行を安全に導いてきた霧信号用蒸気機関ですが、日和山燈台に設置されてからわずか十年ほどで、同じ北海道の松前にある白神岬燈台へ移設され、そこでもわずか十年程しか使用されず昭和六年に撤去され、以後ずっと保管されてきたものです。

現在の霧信号はほとんどが電子音にとって変えられました。が、明治時代には霧笛のほか3丁目30番地の菅島燈台附属官舎脇に展示されている、「霧砲」も同様の目的で使用されたものです。



霧砲



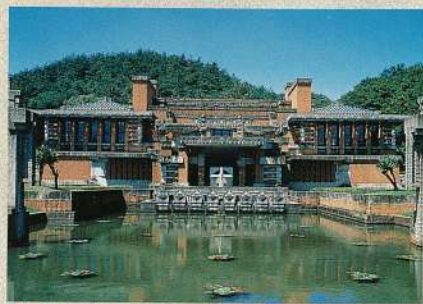
5丁目
⑥ 名鉄岩倉変電所(岩倉ホール)
旧所在地 / 愛知県岩倉市下本町
建築年 / 明治45年(1912)
移築年 / 昭和50年



5丁目
⑧ 菊の世酒蔵
旧所在地 / 愛知県刈谷市銀座
建築年 / 明治初年(1868)
移築年 / 昭和58年



5丁目
⑨ 金沢監獄中央看守所・監房
旧所在地 / 石川県金沢市小立野
建築年 / 明治40年(1907)
移築年 / 昭和47年



5丁目
⑦ 帝国ホテル中央玄関
旧所在地 / 東京都千代田区内幸町
建築年 / 大正12年(1923)
移築年 / 昭和60年



5丁目
⑮ 高田小熊写真館
旧所在地 / 新潟県上越市本町
建築年 / 明治41年(1908)頃
移築年 / 昭和57年



5丁目
⑬ 宮津裁判所法廷
旧所在地 / 京都府宮津市本町
建築年 / 明治19年(1886)
移築年 / 昭和52年

旧所在地はすべて解体時の地名による。

登録有形文化財プレート

「登録制度は、近年の国土開発、都市計画の進展、生活様式の変化等により社会的評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様かつ大量の近代の建造物を中心とする文化財建造物を、後世に幅広く継承していくため届出制と指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講

じる制度…(後略)」として平成8年10月に施行されました。

登録を受けた文化財にはプレートが文化庁より交付されました。博物館明治村では順次取付け作業を行っていきます。今回の登録により、明治村に移築されている63件全ての歴史的建造物が、重要文化財(聖ヨハネ教会堂・西郷従道邸・東山梨郡役所・三重県庁舎・札幌電話交換局・品川燈台・菅島燈台附属官舎・宇治山田郵便局・呉服座)、愛知県有形文化財(名古屋衛成病院)、登録有形文化財となりました。

博物館明治村は、高度経済成長期に取り壊されてゆく文化財を惜しみ、その保存を図るために創設され、順次移築復原が行われた建造物はその価値が十分発揮されるように配置され、保存展示する野外博物館として昭和40年3月18日に開村しました。建造物以外の歴史資料類も数多く収蔵しており、そのうち鉄道寮新橋工場・機械館に展示中のリング精紡機、菊花御紋章付平削盤も重要文化財に指定されています。



第八高等学校正門のプレート (1丁目1番地)

明治村トリエンナーレ'04 芸能・芸術祭

2004年3月13日～11月30日

明治村呉服座公演

吉本純情
笑学校

呉服座公演「吉本純情笑学校」開催

3月13日より、吉本興業による芝居「吉本純情笑学校」を開催します。

吉本の芸人たちが、明治村にある建物の住人に扮し、明治を舞台に繰り広げる笑い涙の人情ドラマです。

期間 平成16年3月13日～11月30日
会場 呉服座(4丁目49番地)
演目 「のんきな次郎之丞」

*夏頃、次作に変更予定
観劇料 お1人様500円(入料金は別途必要です。)
公演時間 11:30～、12:30～、13:30～、
14:30～、15:30～
*11月は14:30までの1日4回

特別展「明治の芸能 見世物から芝居へ」

3月13日～5月31日 三重県庁舎
明治時代に評判となった曲馬団(サーカス)をはじめとする見世物や、歌舞伎や演劇の新たな動きを紹介します。

日本インテリアデザイナー協会作品展

3月21日～4月4日 帝国ホテル中央玄関
日本屈指のデザイナーが集う日本インテリアデザイナー協会の会員30人が、明治村の帝国ホテルを舞台にその最新作をお見せする展覧会「F.L.ライトとの対話 II」を開催します。

明治村ウエディングフェア

4月29日 聖ザビエル天主堂・帝国ホテル中央玄関・岩倉ホール
明治村の歴史ある教会で行う結婚式はいかがでしょう。披露宴のセットや引き出物もご紹介。

模擬結婚式 11:00 13:00 15:00
お問合せ ☎ 0120-78-2205
明治村プライダルデスクまで

芸能・芸術祭

参加者募集

村内の歴史的建造物を会場として、プロ・アマ問わず様々なジャンルの芸能・芸術を発表してみませんか。

- 開催期間
11月30日までの明治村トリエンナーレ'04「第1回 芸能・芸術祭」開催期間中
- 応募資格
年齢、プロ・アマ問いませんが、内容が明治村の雰囲気損なわないものであることが原則です。
- 応募方法
芸能・芸術祭参加希望の旨と、ご住所、お名前、お電話番号、予定している内容をお知らせ下さい。募集要項と申込用紙を郵送いたします。

詳しい内容、申込みは明治村のホームページ
(meijimura.com)でも受け付けております。

☎ 0568-67-0314

※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。

春の明治村



第38回 明治村茶会

好評発売中

4月15日・16日

明治村にある展示建造物を実際に茶席として用いるお茶会です。名品鑑賞とともに、春爛漫の明治村を一日ゆっくりお楽しみ下さい。

坐漁荘・亦楽庵席 京都 北村美術館

北村美術館は京都における茶道関係の美術館のさきがけとして昭和52年、鴨川の西岸沿いに開設された美術館です。創設者は綺麗好きで堂上風な好みと評された故北村謹次郎氏。今回は氏の眼により選ばれたコレクションの中から「絵志野水指」などをご披露いただきます。

学習院長官舎席 名古屋 昭和美術館

昭和美術館は財団法人後藤報恩会の初代理事長故後藤幸三氏が永年にわたり収集した美術工芸品により、文化の向上と文化財の保護に貢献するため開設された美術館です。今回の茶席では「亀山切 古今和歌集(紀貫之)」はじめ選りすぐられたお茶具をお楽しみ下さい。

日本庭園・野点席 金鱗会

茶道の盛んな尾張名古屋を支える諸道具を制作する、秀でた作家の集いとして結成された金鱗会の皆様による出品です。趣向を凝らした野点席を入鹿池を見下ろす風光明媚な明治の日本庭園でご堪能ください。

会費 15,000円(前売りのみ、明治村入場料込み)
内容 茶席三席と点心席・模擬店
お問合せ 明治村茶会事務局 ☎ 0568-67-0314

建物ガイド

村内4ヶ所の建物では下記の時間にガイドがご案内いたします。
一般公開されていない建物の内部を詳しい説明とともにご見学ください。
西郷従道邸2階・東松家住宅・西園寺公望別邸「坐漁荘」
11:00 11:20 11:40 13:00 13:20 13:40 14:00 14:20
呉服座 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 (所要時間 各約15分)

ボランティアガイド

青い腕章をつけたボランティアが、正門前と北口のボランティアブースを拠点に明治村の概要や見所、見学コースなどをご案内します。

●予約制ガイドツアー

団体のお客様を対象にした予約制のツアーです。ボランティアガイドとともに明治村を楽しく見学してみませんか。所要時間は1時間～1時間30分。モデルコースもいろいろ取り揃えています。

プレミアムガイドツアー

明治の貴重な建造物などの文化財を、学芸スタッフによる案内付きで巡る予約制のガイドツアーです。電動車を使って広い村内を楽々移動。お客様のご希望に合わせたルート設定もできます。所要時間は1時間30分。料金は4名様まで10,000円、5名様12,000円、6名様14,000円です。(入料料別)

予約・お問合せ 明治村のホームページからも予約ができます。
TEL 0568-67-0314 www.meijimura.com

明治村写真コンテスト「明治村百景」

作品募集中

募集期間 平成15年7月1日～平成16年6月30日

テーマ 明治村の風景

サイズ

一般部門 カラープリント四つ切り写真
(ワイド四つ切り可)

デジタル部門 A4サイズにプリントアウトしたもの

締切 平成16年6月末日 必着

審査員 明治村で選考した委員による

発表 平成16年8月末までに本人宛に通知いたします

作品展 平成16年9月初旬から約1ヶ月間(予定)

賞

【一般】 明治村賞 1点 賞金 10万円
大賞 2点 賞金 5万円
特選 3点 賞金 3万円
【デジタル】 大賞 1点 賞金 5万円
特選 2点 賞金 3万円
他 入選、佳作を設けています。

●応募について

・作品は上記応募期間内に撮影したもので、未発表かつ発表予定のないものに限りです。
・応募票に氏名、住所、電話番号、撮影条件を明記し作品に必ず貼付してください。

●お問い合わせ

〒484-0000 愛知県犬山市内山1番地
博物館明治村「写真コンテスト」係
電話(0568)67-0314 FAX(0568)67-0358
ホームページwww.meijimura.com「写真コンテスト」から応募票のプリントアウトができます。

金沢監獄が石川県金沢市に建てられたのは、明治四〇年（一九〇七）のことです。敷地はレンガ造りの高い塀で囲われ、その正門として**金沢監獄正門**（5丁目5番地）が建てられました。敷地内部は北半分が管理のための建物群で、南半分にあったのが**金沢監獄中央看守所・監房**（5丁目52番地）を含む獄舎です。元々は八角形に造られた中央看守所を中心に、五棟の獄舎が放射状に配置されていました。これは明治五年に制定された監獄規則、並びに監獄規則の規定に沿ったものです。（写真1）

金沢監獄の書信室

そして、この中央看守所の床に、コンクリートで作られた小さな四角形が並んでいる部分があります。（写真2）これは、在監者が手紙を書く「書信室」の跡です。少し盛りあがったところが壁だった部分で、台形状の一つの部屋の大きさは看守所の中央側の面が45センチ、外側が70センチ、奥行きが90センチの身動きできないほどの狭いものです。中央看守所の中心にあった看視室に向かった面はガラス張りで、役人の目が届くようになっていましたし、他は壁で囲まれているので、隣の部屋の在監者が書く手紙は覗くことが出来なくなっていました。明治四十一年に制定された監獄法の第九章第四十六條、第四十七條に「受刑者ニハ其親族ニ非サル者ト書ノ發受ヲ爲サシムルコトヲ得ス但特ニ必要アリト認ムル場合ハ此限ニ在ラス」「受刑者ニ係ル信書ニシテ不適當ト認ムルモノハ其發受ヲ許サス」とあり、在監者が手紙を出せるのは特に許された場合を除いては親族のみで、検閲を受けて内容に問題が無いと認められた信書以外は出すことも受け取ることも出来なかったことが分かります。また、手紙を書く用紙は「書信紙」と呼ばれる監獄専用の便箋一枚でした。狭い書信室で小さな便箋一枚に、どんな想いが込められたのでしょうか。



写真2

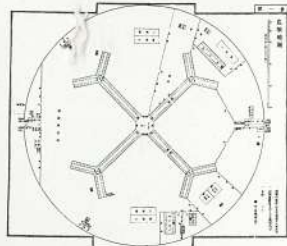


写真1「監獄規則図式」より

明治時代に登場「改良風呂」

江戸銭湯の始まりは天正十九年（一五九二）に出現した伊勢の与一の銭湯で、蒸風呂だったというのが定説のようです（※1）。その後の銭湯もおよそ蒸風呂で、湯は熱く、密閉した浴室に湯気を立ち込め、その湯気が逃げないように柵欄口と呼ばれる低い出入口が設けられていました。人々はその鴨居下を腰をかがめて出入りし、洗い場はこの外にありました。浴室内は湯気が立ち込み薄暗く、水の入れ替えも少なく衛生的とはいえず、当時はほとんどが混浴だったため風紀上でも問題をかかえていました。たびたびの取締りが繰り返されたにもかかわらず、この形態は長く続き、明治十二年（一八七九）には「柵欄風呂」の禁止令が出されています。

そんな折明治十年頃、神田区連雀町に鶴沢紋左衛門なる人物が新しい銭湯を考案します。浴槽を板間に沈めて湯をたっぷり入れ、さらに流し場の天井を高くし湯気抜き窓を設けた非常に明るく開放的なもの、いわゆる「改良風呂」の出現です（※2）。明治五年の鉄道開通後全国に広がった鉄道網は単に療養地だった各温泉地を興隆させ、その温泉地の浴槽を探り入れたもので、当初は湯ノ花を加えた「薬湯」一仕立てでした。この改良風呂の登場によって明るく清潔になった銭湯は漸次地方にも浸透していき、知多半島の港町半田に建てられた東湯もその形態です。しかし浴室内は依然として簡単な板張りでも男女を仕切り、浴槽も木製です。タオルが普及するまでは大正十年頃からのことでした。



白洲から法廷へ

宮津裁判所法廷（5丁目53番地）は、「天の橋立」のある宮津湾の港市、丹後の要衝宮津の中心地に位置していました。厳しさを秘め、和洋折衷様式で出来た建物は、江戸時代の白洲から法廷へと移り変わる新しい裁判所の形でもありました。

日本に近代の意味での裁判所の発端は明治元年（一八六八）で、政体書の中で大政官の権力を立法・行政・司法の三権に分離し、司法権を握る刑法官を設けたのを契機として、司法権の独立へと向かうことになりました。その後、裁判所の種類や名称に様々な変更があり、明治二十三年（一八九〇）フランスの法律を基本とした裁判所構成法の施行により、司法制度はその確立をみました。このような確立期の明治十九年（一八八六）に宮津裁判所は建てられたのです。その法廷の様子を、今も明治村で見ることが出来ます。

先ず裁判には、犯人を発見し検挙するとともに、犯人の行為が犯罪となるか、またどのような刑罰を科すのが適当かを審理する刑事訴訟と、私人間の財産上・身分上の生活関係に関する紛争を法的に解決する民事訴訟があります。ここでは前記の刑事訴訟を扱っており、明治末期の地方裁判所における単独公判の風景を体感することができます。

法廷内は上段と下段に分かれており、高い壇上には判事と検事、書記が座を占め、弁護士と被告人席は下段に置かれています。この位置でも分かるように、当時は検事と弁護士は同等な位置ではなく、その上下が明らかにされていました。そして場面は厳肅な面持ちの検事の朗読風景から成ります。机の上に両手をのせ、検事の起訴朗読を聴く判事。立ち上がって起訴状を両手で持ち、朗読中公正な裁きを主張しつつ起訴状に鋭い眼差しで被告人席を見る検事。その検事の発言を聞きまらさずと鋭い神経を集中し、記録の筆をたたくたすら走らせている書記。そして下段では、老練の弁護士が椅子に腰掛けて、手に弁護資料をとり起訴朗読に耳を傾けています。その全てに気配りしながら、廷丁が直立不動で見守っています。

実際に人形の動作はありませんが、悪に判然と立ち向かう心意気や緊張感、また編笠を被った被告人の落胆の様子までもが感じ取れます。



新商品・新スポット紹介

「博物館明治村ガイドブック」改訂



一冊700円



村内に移築されている63件の歴史的建造物と鉄道記念物3件、動態展示されている京都市電・蒸気機関車等を詳しい解説と写真で紹介しています。



「小倉ドッグ」新発売

大井牛肉店横に新店舗がオープンします。新商品の小倉ドッグは、たっぷりのあずきあんといっぴくクリームをドッグロールパンに包み込んだ、ほんのり香ばしい味わいです。

「汐留レンガ迷路」新設

明治5年、日本初の鉄道駅として開業した新橋駅があった汐留。その跡地の発掘調査により掘り出された当時の煉瓦が東京都から寄贈され、昨年3月「4丁目45番地 工部省品川硝子製造所」前庭に汐留火力発電所の煙突基礎部分を移築復元しました。この度、残りの煉瓦を使用し「3丁目31番地 長崎居留地二十五番館」下広場に汐留レンガ迷路を設置しました。迷路は横18.5メートル、縦16メートル、塀の高さは子供向けで約1.2メートルです。



明治村がさらに見学しやすくなりました。

明治村見学をわかりやすくするために、村内の建物に「丁目」と「番地」を付けました。今後、建物番号だけではなく丁目ごとに定められたシンボルカラーとともに表示されます。それに伴い案内地図もリニューアルいたしました。

新村長に俳優の小沢昭一氏が就任

俳優として多方面に活躍中の小沢昭一さんが、明治村第三代村長に就任します。小沢氏は明治村を何度も訪問し、エッセイでも取り上げるなどよき理解者であり、かつて小沢氏のお父様と現在明治村に移築保存されている「高田小熊写真館 5丁目65番地」とのゆかりもありました。

